

収入申告書 [前年の収入・支出]

私は千葉工業大学大学院奨学金を申し込むに当たり、収入に関する状況は以下の通りであることを誓います。

○ 学校名 _____ 大学 _____ 学部・研究科 _____ 学科・専攻 _____

○ 現在の課程： 1. 修士課程 _____ 2. 博士後期課程 _____ 3. 学部 _____

○ 氏 名 _____ ○ 学生番号 _____

[各項目1万円未満切り捨て]

1. 前年の収入額		
【証明書類必要】		
	収入項目	収入額
定職 (注1)	定職 1 (本人)	(年額) 万円
	定職 2 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (注1)	TA	(年額) 万円
	アルバイト 1	(年額) 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
父母等からの給付額 (注2)		(年額) 万円
奨学金(日本学生支援機構・大学院奨学金等) (注3)		(年額) 万円
その他の収入 (利子・配当・預貯金の取崩等)		(年額) 万円
収入額合計 (注4)		(年額) 万円



2. 申込者本人 1 人にかかる前年の支出額	
[申告のみ：証明書類不要]	
支出項目	支出額
日常生活費 (食費・住居費・光熱費等)	(年額) 万円
授業料	(年額) 万円
通学費 (定期代等)	(年額) 万円
その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動等)	(年額) 万円
支出額合計(注4)	(年額) 万円

記入上の注意

(注1) 定職、アルバイトに関する証明書（源泉徴収票等）を提出してください。なお、TAについては、証明書類は不要です。
※給与所得の支払金額を記入してください。

(注2) 父母からの給付額については、授業料・日常生活費等を合算した金額を計上してください。

(注3) 奨学金は奨学金借用状況調査票と整合してください。

(注4) 「収入額合計」 ≥ 「支出額合計」とならない場合は、記入の誤りがないか再度見直してください。

※日本学生支援機構大学院第二種奨学金家計基準（申請者本人昨年収入536万円以上）に該当する場合は申込できない場合があります。

記入例

年 月 日

収入申告書〔前年の収入・支出〕

私は千葉工業大学大学院奨学金を申し込むに当たり、収入に関する状況は以下の通りであることを誓います。

○ 学校名 千葉工業大学 工学 学部・研究科 学科・専攻

○ 現在の課程：1. 修士課程 2. 博士後期課程 3. 学部

○ 氏 名 工大 一郎 ○ 学生番号

[各項目1万円未満切り捨て]

1. 前年の収入額		
【証明書類必要】		
	収入項目	収入額（A）
定職 (注1)	定職 1（本人）	(年額) 万円
	定職 2（配偶者） [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (注2)	TA	(年額) 20 万円
	アルバイト 1	(年額) 50 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
父母等からの給付額（注3）		(年額) 70 万円
○奨学金(学生支援機構・大学院奨学金等)		(年額) 90 万円
その他の収入（利子・配当・預貯金の取崩等）		(年額) 万円
	収入額合計（注4）	(年額) 230 万円



2. 申込者本人1人にかかる前年の支出額	
[申告のみ：証明書類不要]	
支出項目	支出額
日常生活費（食費・住居費・光熱費等）	(年額) 120 万円
授業料	(年額) 90 万円
通学費（定期代等）	(年額) 10 万円
その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動費等)	(年額) 10 万円
支出額合計（※）	(年額) 230 万円

記入上の注意
(注1) 定職、アルバイトに関する証明書（源泉徴収票等）を提出してください。なお、TAについては、証明書類は不要です。 ※給与所得の支払金額を記入してください。
(注2) 父母からの給付額については、授業料・日常生活費等を合算した金額を計上してください。
(注3) 奨学金は奨学金借用状況調査票と整合してください。
(注4) 「収入額合計」 ≥ 「支出額合計」とならない場合は、記入の誤りがないか再度見直してください。
なお、日本学生支援機構大学院第二種奨学金家計基準（申請者本人昨年収入536万円以上）に該当する場合は申込できない場合があります。